

# 教育研究業績書

2017年10月20日

所属：健康・スポーツ学科

資格：講師

氏名：村越 直子

研究分野	研究内容のキーワード
ダンス 臨床教育学	ソマティクス モダン・ダンス コンテンポラリー・ダンス ダンス専門教育
学位	最終学歴
臨床教育学修士	武庫川女子大学大学院臨床教育学専攻修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 専門英語B	2017年04月01日～現在	英語のボキャブラリーをからだで理解することを目指し、ダンス・レッスンを取り入れた授業を展開している。
2. マリン・スポーツ実習	2017年04月～現在	実習長として、2017年度より学科のマリン・スポーツ実習に、現地の小学校との交流、現地の自然環境や災害に関する学習、現地の文化を理解するという3つのテーマ学習を新たに取り入れた。実習地の状況を理解することや、その地域への貢献を視点におくことにより、期間中に実習地とより良い関係を構築することに結びついた。学生の主体的な学習が促進された。
3. 海外のスポーツの研究	2013年3月	トロントのヨーク大学・ライヤソン大学の2大学のダンス学科と交流。 日加の学生がそれぞれに創作ダンス作品の講評をし合った。本学学生が現地大学院の授業も含めカナダの学生に混じって受講した。ゼミ生が卒論の為のインタビューやアンケート調査を行った。ダンス甲東園2013のワークショップを受講した学生が、そこでトロントから来日していた振付家の作品をトロントのキャストと共に公演出演した。
4. 特色ある授業外活動の実践例	2013年～現在	ゼミの学生達と、海外で活動するダンサーを招いたワークショップの企画、または支援する活動（バレエ講習会の企画、海外アーティストによるワークショップのボランティア）を行ってきている。国際的な活動をしている人々の言葉や振る舞いから、それぞれに専門領域に関する探究心や学習意欲を高めている。
5. 学生の学外活動を活用した学習促進	2011年04月～現在	ゼミの活動として、学外での催しにダンス作品を提供する（にしのみや野外アートフェスティバル、船坂アートビエンナーレ、ダンス甲東園など）、ダンスの地域性や身体性を実感する試み（田植えボランティア）、に参加し、ダンスについての理解を深めた。学生と地域の芸術振興活動や文化伝承について考える機会が持てた。
6. 西宮大学交流センター・オリジナル科目	2011年～現在	大学交流センターのオリジナル科目をコーディネーターとして受け持っている。 地域のアーティストによる専門的なダンスの実践を、他大学や専門の違う学生と学び合い、それぞれの視点からディスカッションすることによって、視野の広がりがみられる。
7. 合同ダンス発表会の実施	2011年～現在	ダンスⅠ（現代的なリズムのダンス）、ダンスⅡ（創作ダンス）、ダンスⅢ（コンテンポラリー・ダンス）の授業の成果を、期末のダンス発表会で受講者全員で披露しよう。互いの独創的な発想に触れることで、表現文化の奥深さを理解することにつないでいる。
8. グループワークでダンス作品の創作	2010年～現在	ダンスⅠの授業では、クラスの仲間と意見を出し合いながら小作品を創作している。授業の最後にお互いのワークを経過発表し、感想を交換しながら、作品に仕上げていく。自分の持ち味、他人の持ち味を、授業を通して学びあう。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. ダンスⅠ・ダンスⅡ・ダンスⅢ・保健体育科指導法Ⅶ 授業ノート	2017年04月	ダンスⅠ（現代的なリズムのダンス・フォークダンス）、ダンスⅡ（創作ダンス）、ダンスⅢ（ダンス技術）、保健体育科指導法Ⅶ（ダンス指導法）の授業を通じて使用する資料と、授業内容の整理するノートを作成した。北島見江、村越直子、東出益代で共同編集・共著。ダンスⅠ（pp2-38）とダンスⅢ（pp84-117）を担当した。
2. ダンスⅠ・ダンスⅡ 授業ノート	2014年04月	ダンスⅠ・ダンスⅡで活用する授業ノートを作成した。北島見江・東出益代・村越直子で共著・編集
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 西宮大学交流センター単位共通講座オリジナル科目	2011年04月01日～現在	西宮10大学単位共通講座のセンターオリジナル科目をコーディネーター兼講師として担当
2. 神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻	2010年04月01日～2014年03月31日	非常勤講師 モダン・コンテンポラリーダンスを担当した。
<b>4 その他</b>		

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>4 その他</b>		
1. ラバン・ムーブメント・アナリシス講習会	2016年11月～2017年05月	ダンス研究とダンス教育で活用されている、ラバン・ムーブメント・アナリシス（動作分析）とパーティニエフ・ファンダメンタルズの講習会を開催した。本学教員、学生、OGをはじめ、地域の教員やボディワーカーが参加した。
2. Shahar Binyaminiによるクリエイションワークショップ	2016年09月11日～2016年09月25日	元パットシェバ舞踊団プリンシパルダンサーのシャハー・ビンヤミニ氏が本学ダンス部にダンス作品を創作する企画を実施した。2016年12月の第48回ダンス部定期公演（会場：ピッコロシアター）でその成果を発表した。
3. Gaga ワークショップの開催	2016年09月2014年09月	イスラエルを代表する振付家オハッド・ナハリンが生み出した身体技法Gagaの講習会（主催：A-core dance、Gaga Movement 後援：イスラエル大使館）を、本学で開催した。講師は、元パットシェバ舞踊団のプリンシパルダンサー、シャハー・ビンヤミニ氏が担当した。
4. 海外スポーツボランティアプログラムの開発	2016年04月～現在	2015年に「さらなる大学教育の質向上のために」教育改革・改善プランにグループで応募した「海外スポーツボランティアプログラムの開発（代表：松本裕史准教授）」が採択された。メンバー（伊東太郎、村越直子、N.J. ルドルフ）として、フィリピン、セブを拠点に活動するセブン・スピリットに協力を得て、プログラムの開発を進めている。
5. バトン・チアリーディング部副部長	2015年04月01日～現在	
6. ダンス部部长	2015年04月01日～現在	
7. ダンス部副部長	2011年04月01日2015年03月31日	

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要

<b>1 資格、免許</b>		
1. Mitzvah Technique 認定教師	2008年05月	カナダでネヘミア・コーヘン氏によって開発された姿勢法：ミツヴァテクニックの指導資格

<b>2 特許等</b>		

<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
------------------------------	--	--

1. 第57回大阪高等学校創作ダンス発表会	2016年11月13日	大阪高等学校保健体育研究会の依頼で、第57回大阪高等学校創作ダンス発表会に出席し、出品作品についての講評を行った。
2. 大阪府教育庁教育振興室 子どもの体力づくりサポート事業 「めっちゃWAKUWAKUダンス」普及促進	2016年08月2016年12月	大阪府教育庁からの依頼を受け、豊中市立桜井谷小学校に、子どもの体力づくりサポート事業の一環として「めっちゃWAKU WAKU ダンス」を指導を行った。
3. 第15回兵庫県高等学校春季ダンスコンテスト 審査員	2016年02月20日	兵庫県高等学校体育連盟ダンス部の依頼で、兵庫県高等学校春季ダンスコンテストの審査員をした。
4. 平成27年度猪名川町生涯カレッジ「リバグレス猪名川」	2016年02月06日	平成27年度猪名川町生涯カレッジ「リバグレス猪名川」の講師として、「生活の美」をテーマにした講義を行った。
5. 平成27年度 兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業・実技講習会 講師	2015年08月25日	兵庫県高等学校体育連盟ダンス部から依頼を受け、選手強化育成事業・実技講習会の講師として、県内の高校生を指導した。
6. 全日本小中学生ダンスコンクール西日本地区大会ボランティア	2015年08月18日2015年08月20日	朝日新聞主催の全日本小中学生ダンスコンクール西日本地区大会が本学で開催される際に、学生ボランティアを募って大会を支えた。
7. 第22回野外アートフェスティバル in にしのみや～きずな～	2013年10月07日	主催：西宮市文化振興財団 野外コンサート「ダンス・モザイク」を監修した。 会場：西宮市役所前六湛寺公園
8. 兵庫県教育委員会 平成25年度中学校教員武道・ダンス指導力向上事業「学習指導要領に対応したダンス学習の指導法」講師	2013年08月08日2013年11月29日	兵庫県教育委員会より依頼を受け、宝塚市（8月）但馬地区（11月）で、中学校教員武道・ダンス指導力向上事業「学習指導要領に対応したダンス学習の指導法」において講習した。
9. 第12回西宮大学交流祭 キャンドルナイト	2012年12月16日	主催：西宮市、西宮大学交流協議会 西宮北口ACTA2階の円形デッキにて行われた大学交流祭「キャンドルナイト」の制作コーディネーターを務めた。
10. 第21回野外アートフェスティバル in にしのみや～きぼう～	2012年10月08日	主催：西宮市文化振興財団 大学生を中心としたダンスパフォーマンス「ダンス・モザイク」を監修した。 会場：西宮市役所前六湛寺公園

<b>4 その他</b>		
1. スポーツセンター委員 副ディレクター	2017年04月01日～現在	スポーツセンターの副ディレクターとして、マネジメント・メディア部署を担当
2. 国際化推進委員会専門委員会	2015年04月01日～現在	国際化推進委員会専門委員会として、国際化にむけての対策の検討を行った。とくに「フォッシーン・日下交換教授プログラム」では、招聘教授の受け入れ準備と対応を行った。（2012年度、2016年度）

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>4 その他</b>		
3. クラブ強化対策委員	2015年04月01日～現在	クラブ強化対策委員として、クラブの運営、強化対策を検討。
4. 学生委員	2013年04月01日2016年03月31日	健康・スポーツ科学部の学生委員として、幹事会顧問、健康・スポーツ科学会顧問、学科の学生生活活動の支援、学生指導全般などを行った。
5. 生活美学研究所所員	2013年04月01日～現在	生活美学研究所所員として、定例研究会、ワークショップ、シンポジウムの開催などの企画・運営と、研究活動を行う。
6. 学科広報委員	2013年04月01日～2016年03月31日	学科広報委員として、学科パンフレットの作成を担当した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. 姿勢の感覚と自己の育ち—ソマティック・エデュケーションの紹介とその意味の検討	単	2014年11月	臨床教育学研究科開設20周年 記念論文集 p. 173-191	「からだの使い方の吟味」によって主体的な学びの道筋を示すソマティック・エデュケーションの系譜とその主たる概念をまとめた。その上でその実践者の語りから自己の育ちを軸とした技法の本質的な意味の検討を試みた。

**その他**

<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
----------------------	--	--	--	--

<b>2. 学会発表</b>				
1. ダンサーにおける困惑・葛藤とその意味—ダンス・トレーニングとソマティクスの間で—	単	2016年9月24日	日本臨床教育学会 第6回研究大会	日本人ダンサーがソマティクスに触れ、その概念を取り入れダンサーとしての専門性を高めようとする場合に起きる困惑・葛藤について考察を行った。ダンス教育とソマティクスをつなぐ過程に起こる問題を、ダンス指導者とダンサーたちへの聴き取りと先行研究とを照らし合わせて発表した。
2. The Improving Effect of Gyrotonic Expansion SystemR on the Performance of Female Gymnasts	共	2016年10月24日	IADMS 26th Conference International Association of Dance Medicine and Science	ジャイロトニックエクспанションシステムを使用したエクササイズが体操選手の演技にもたらす影響について発表した。北島見江が総括、村越直子：データ収集及び解析補助を担当した。他、東出益代、藤井瑠璃、森山尚子ロビンスの共同研究。データ収集と解析をグループで行っているため担当範囲は限定できない。
3. 姿勢の感覚と自己の育ちをめぐる一考察—日本におけるミツヴァ・テクニクの実践から—	単	2014年9月27日	日本臨床教育学会	日本におけるミツヴァ・テクニクを実践者たちの語りから、ミツヴァ・テクニクがダンスへ及ぼした影響が、からだの内部の「葛藤」として表れた現在バレエ教師のAさんと、ミツヴァ・テクニクが意味する「からだの再教育」が具体的に表現されていたBさんの語りを紹介し、この2つの語りから、ミツヴァ・テクニクの持つ特質と、そこで培われる姿勢の感覚と自己の育ちという側面から考察を付け加えた。
4. オハッド・ナハリンが開発したGagaがダンスとダンス教育に問いかけるもの—テルアビブでの聴き取りに基づいて—	単	2014年11月29日	舞踊学会	バットシェバ舞踊団芸術監督オハッド・ナハリンが開発した動きのメソッドGagaは、今日世界中のダンサー、ダンス教師に優れたダンス教育として注目されている。2013年に行ったナハリンからの聴き取りより、Gagaの基軸となる考え方について考察を行った。

<b>3. 総説</b>				
1. ミツヴァ・テクニク (Mitzvah Technique) に始まったソマティクスへの関心	単	2016年6月	舞踊学会 ニューズレター第10号	カナダで開発されたソマティクス、ミツヴァ・テクニクを学びながら現役ダンサーとして踊っていた自身の経験を振り返り、現在の研究関心と、ダンス教育についての問題意識をまとめた。
2. 北米で始まったソマティクス研究—それが臨床教育学に示唆するもの—	単	2016年3月31日	日本臨床教育学会、臨床教育学研究 第4巻 p. 146 - 153	アメリカ哲学者であるトーマス・ハナが唱えたソマティクスという研究領域について、北米におけるその後の研究動向をまとめ、臨床教育学との関わりを考察した。
3. コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。—元バットシェバ舞踊団ダンサー、シャハー・ビンヤミニの講演から—	単	2015年11月16日	武庫川女子大学 生活美学研究所紀要 第25号 p. 7-17	2014年9月に行われた生活美学研究所主催のダンサーであり、振付家でもあるシャハー・ビンヤミニの講演会を基に、イスラエルで開発された動きの技法である「Gaga」の説明と、生活美学研究所2015年度の研究テーマに沿って、「きらめく身体」についての論考をダンス教育の視点からまとめた。

<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
---------------------------------	--	--	--	--

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
1. 第74回全国舞踊コンクール 優秀指導者賞	共	2017年5月30日	東京新聞主催全国舞踊コンクール	「検索履歴：羽 伸ばせない」の指導に対して、優秀指導者賞を受賞した。 村越直子、東出益代、山田知世
2. 「検索履歴：羽 伸ばせない」	共	2017年4月3日	全国舞踊コンクール	指導した作品「検索履歴：羽 伸ばせない」（武庫川女子大学ダンス部S）が、全国舞踊コンクール群舞部で第2位を受賞した。
3. 「親指は出張中」	共	2016年9月18日	第19回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2016	指導した作品「親指は出張中」（武庫川女子大学ダンス部）が特別賞を受賞した。
4. 「Checkmate」	共	2016年3月26日	全国舞踊コンクール	指導した作品「Checkmate」が全国舞踊コンクール群舞の部で入賞1位を受賞した。
5. 「レ・ミゼラブル」	共	2016年3月24日	兵庫県立芸術文化センター中ホール	ヴォイスアーツ主催の演奏会形式「レ・ミゼラブル」公演の振付を担当した。 振付：村越直子、東出益代
6. 「枯れるために咲く」	共	2015年9月12日	第18回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2015	指導した作品「枯れるために咲く」[武庫川女子大学ダンス部]が特別賞を受賞した。
7. 「Four Horsemen Project」最優秀賞 サウンド・デザイン、作曲部門	共	2015年6月22日	2015 Dora Mavor Moore Award (Canada)	2015 Dora Mavor Moore Award, General Theatre 部門においてOutstanding Sound Design/Composition 賞にノミネートされ、キャストとして受賞。Rafael Barreto-Rivera, Paul Dutton, Steve McCaffery & bpNichol, Bill Brennan, Graham Hargrove, John Millard, Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi and Andrea Nann.
8. 「Four Horsemen Project」、パフォーマンス部門最優秀賞にノミネート	共	2015年6月	2015 Dora Mavor Moore Award (Canada)	2015 Dora Mavor Moore Award, General Theatre部門において Outstanding Performance -Ensemble賞にノミネートされた。 Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi and Andrea Nann
9. 「くるみ割り人形」	共	2015年3月7日8日	宮っこ親子コンサート 西宮市フレンテホール 甲子園会館音楽会 武庫川女子大学甲子園会館	音楽学部応用音楽学科による、コンサート形式の「くるみ割り人形」第2幕のダンス振付を担当した。振付：村越直子、東出益代
10. 「きこえていますか ～Voices from Hades～」	共	2015年11月06日08日	10th Anniversary REVERBdance Festival, Baruch Performing Arts Center, New York, USA	指導した作品「きこえていますか ～Voices from Hades～」(武庫川女子大学ダンス部)がREVERBdance フェスティバルに招聘を受け、参加した。
11. 「胡桃の音」	共	2014年9月14日	第17回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2014	指導した作品「胡桃の音」[武庫川女子大学ダンス部]が特別賞を受賞した。
12. 「Four Horsemen Project」	共	2014年11月6日～11月22日	Soulpepper Theatre Company	Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：Young Centre for the Performing Arts, トロント(カナダ) 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン パフォーマー：ジェニファー・ダル、グラハム・マッケルヴィ、村越直子、アンドリア・ナン
13. 「Four Horsemen Project」	共	2014年10月28日～11月2日	East Cultural Centre	Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：East Cultural Centre、バンクーバー(カナダ) 演出：ロス・マンソン 振付：ケイト・アルトン パフォーマー：ジェニファー・ダル、グラハム・マッケルヴィ、村越直子、アンドリア・ナン
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 「動きの瞬間を捉える」		2017年5月20日	武庫川女子大学生生活美学研究所	ダンス教育に影響を与えたラバン・ムーブメント・アナリシスの認定指導者である橋本有子氏を招いて、動きの質についての講演会を企画した。指定討論者に舞踊教育専門の原田奈名子教授(京都女子大)と幼児教育・ダンスセラピー専門の崎山ゆかり准教授を招いて研究討論した。
2. 「からだどイメージで遊ぶ—Movement Research—」		2016年9月10日	武庫川女子大学生生活美学研究所 生活美学ワークショップ	元バットシェバ舞踊団プリンシパルダンサーであり、Gaga教師のシャハー・ビンヤミニ氏による一般対象向けの公開ワークショップを企画・開催した。
3. 「素の美 一日本人の美意識—」		2015年11月21日	生活美学研究所 平成27年度秋季シンポジウム	生活美学研究所 秋季シンポジウム「素の美—日本人の美意識—」の総合司会を務めた。
4. 「コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。」		2014年9月20日	生活美学研究所2014年度第2回定例研究会	生活美学研究所定例研究会にイスラエルの元バットシェバ舞踊団団員で、Gaga教師であるShahar Binyamini氏を招き講演会を開催した。その討論会の司会を

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
5. 「身体、舞踊、トランスバリー島、里の祭祀を考える」		2014年3月1日	生活美学研究所2013年度第6回定例研究会	務めた。 生活美学研究所定例研究会に舞踊批評家、慶応義塾大学名誉教授である石井達朗氏を招いて講演会を開催した。また、討論会の司会を務めた。
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. ダンス教育で育てるからだを問う～ソマティクスとボディ・ワークのかかわりから	共	2017年04月から	平成29年度科学研究費基盤研究C	ダンス、表現運動の指導のむずかしさは議論されてきた。本研究は「表現運動・ダンス領域でどのような「からだ」を育てようとするのか」について、ソマティクスの思想とボディ・ワークの技法をもとに問い直すことを目的としている。代表：原田奈名子（京都女子大）分担：大橋奈希左（上越教育大）、村越直子（武庫川女子大）の共同研究。 研究分担者として、臨床教育学の立場から舞踊教育とソマティクス及びボディワークの分野を担当する。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2015年12月	第67回舞踊学会大会 実行委員
2. 2014年4月～現在	日本女子体育連盟 特別会員
3. 2014年04月～現在	International Association for Dance Medicine and Science
4. 2012年4月～現在	日本臨床教育学会
5. 2012年～現在	舞踊学会
6. 1992年～現在	Dancer Transition Resource Centre